

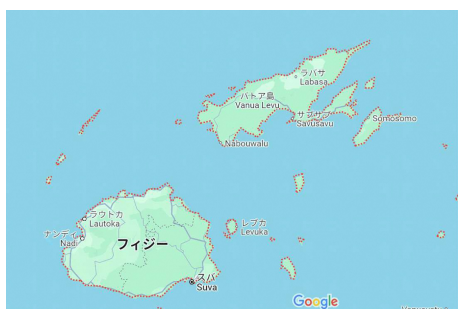
南太平洋の小さな島：フィジーからの便り #1

2024年5月派遣 天野久雄（シニア）
第1号 9月15日



こんにちは。私はフィジー国立大学で教育学部の学生たちに数学を教えています。

学校を巡回して、日本の紹介やJICA事業の説明もしています。この便りではフィジーでのリアルな生活やJICA隊員たちの活動をお知らせします。今回はフィジーの概要をお伝えします。気軽な気持ちでお読みください。☺



フィジーはオーストラリアの東側、ニュージーランドの北側にあります。ニュージーランドには飛行機が毎日、運航されています。貨物船も行き来しています。リンゴやニンジン、卵など農産物が送られてきます。米や小麦粉、チーズなどの物流も盛んです。フィジーでは、生活雑貨や食料品が容易に手に入ります。日本からのアクセスも良いです。成田から直行便が出ていて、9時間でナンディ国際空港に着きます。

この地図を見てください。フィジーには300ぐらいの島がありますが、人が住んでいる島は100ぐらいです。一番大きな島はビチレブ島です。左下の島です。国際空港や首都がこの島にあります。みなさんが観光で訪れるなら、この島がお勧めです。派遣されている21人のJICA隊員のほとんどは、この島で活動しています。

ビチレブ島の面積は約1万平方メートルです。岐阜県とほぼ同じ大きさです。そこに、大きな都市が3つあります。東部にある**スバ**、西部にある**ナンディ**と**ラウトカ**です。スバは首都です。人口は約10万人で、いちばん大きな都市です。JICA事務所はスバにあります。ほとんどの隊員は、スバ市内や周辺で活動しています。ただちょっと不便なことがあります。その1つは、とても雨が多いことです。1年のうち半年は雨季です。もう1つは、大きな国際空港がありません。



私は西部地区のラウトカで活動しています。私を含めて4人のJICA隊員がここで活動しています。近くに**バ**という田舎町があります。そこで一人の女性隊員が活動しています。ラウトカとバの5人組はSNSで連絡を取り合っていて、時々、休日に会っています。シニア隊員は私だけで、ほかは若い人ばかりです。みなさん親切で、私に気を使ってくださいませ。☺

この写真は休日に訪れたベナカ島です。ラウトカから船で10分ぐらいの小さな島です。海がきれいです。南太平洋にある美しい島の1つです。地元の人や観光客、日本人の留学生たちが遊びに来ていました。フィジーには大きなレジャー施設やイベント会場はありません。のんびりと自然に癒されながら過ごすのが、フィジーの人たちのライフスタイルです。

※ フィジーはテレビ番組やガイドブックでよく紹介されます。そこでは豪華なホテルやおいしい食事の話題が多いですが、ここではフィジーのリアルな生活やJICA隊員の活動を紹介します。もちろん私の活動もこれから報告していきます。今後もこのレポートをご覧ください。

これからも読みたいと思った人は、📍表示と友だちへの拡散をお願いします。JICA隊員の励みになります。リアルな話、私たちは結構きつい生活と仕事をしています。

デナラウ島 リゾート地 棧橋



デナラウ島 おしゃれなカフェ



ナンディ 場外マーケット 果物



ナンディ 場外マーケット 鮮魚



ナンディ 工芸品 マーケット



ラウトカ サトウキビ列車 レール



スバ サンディ マーケット 花



スバ サンディ マーケット 食品

